

とうべつ

手にとって ^{ぐ~っと}good 身近に

議会だより



No. 196

平成31年2月1日発行

CONTENTS

12月定例会

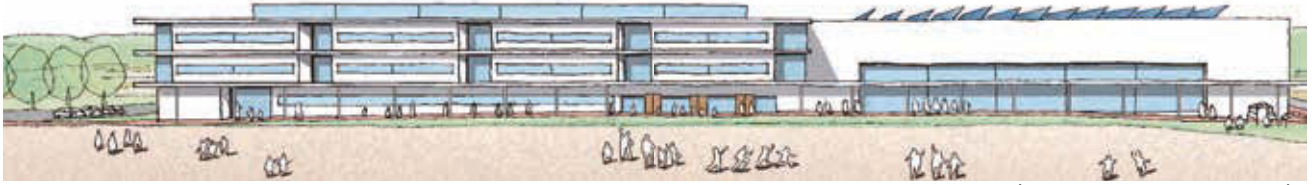
- 一体型義務教育学校基本設計プロポーザル・・・ 2
総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会・公共施設特別委員会
- 新年度予算編成に向けた質問も・・・ 5
7人の議員が登壇 一般質問
- 商工業団体、農業団体との懇談で多くの意見・・・ 14
第12回当別町議会報告会



JR 札幌線 本中小屋駅から乗車する人

総務文教常任委員会(12/5)、産業厚生常任委員会(12/6)、公共施設に関するあり方 立体的な学びと交流の場「ステップテラス」のある校舎

一体型義務教育学校基本設計プロポーザル



校庭から見た校舎(左が教室、右が体育館)

基本
設計

季節風から子どもを守る校舎

体育館と校舎を一つの建物として敷地西側に配置し、風雪から守られた安全な通学路を確保。



配置イメージ図

当別町一体型義務教育学校基本設計業務委託公募型プロポーザル^{※1}を11月26日に開催し、参加した全7社からの技術提案書の審査を行い、**最優秀者は株式会社北海道日建設計に選定した**との説明がありました。

(株)北海道日建設計の提案から予想図をご紹介します。あくまでも基本設計のプロポーザルのための提案です。この予想図どおりの校舎と決定したわけではありません。あわせて義務教育学校についての各委員会での質疑をご紹介します。

総務
文教

児童生徒数の推計

問

児童生徒数の推計は、2022年度開校時は発表されたが、2028年度は持ち合わせがないとのこと。この推計だからこの規模の学校を作るといことではないのか。

答

2023年度推計値は持っているが、その後は、町の施策の効果などにより横ばい、微減を想定しており、大きく減ることはないと思っている。(12/19総務委員会での答弁)

基本
設計

インナーガーデンとステップテラス

校舎中央の自然光を取り入れ階段状に連続するステップテラスは地域や他学年との交流の場に。



インナーガーデンイメージ図

公共
施設

優秀事業者の決定方法

問

優秀事業者の決定方法や選考過程は。また、次席まで決めたのは、優秀事業者が何らかの事情で辞退をした場合に次席が繰り上がるのか。

答

選考は各委員が得点を付け、最高得点の事業者に決定した。また、次席については、そのとおりである。

総務
文教

校舎建設の財源は

問

(株)北海道日建設計が提案した事業費の概算48億円のうち、町からの支出はいくらか。財源が問題であり、財政部局ときちっと協議をしてもいい。

答

事業費は、今後、基本設計の中で算出していく予定である。前回お話しした50億円の数字を用いれば、町費10億円、起債30億円、補助金10億円で、これがベースになる。

※1 プロポーザル…複数の事業者に目的に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

検討特別委員会(11/30)を開催し、町からの提案に対する質疑が行われました。

こども園との協定書・道の駅冬のイベント

総務
文教

次年度計画書の報告期限

平成31年度より、ふとみ保育所は公私連携型認定こども園となり、民設民営でありつつも、町が関与し、運営法人と町とが連携して教育・保育活動を実施することになります。その連携のための協定書(案)の説明がありました。

問

公私連携法人は次年度の教育・保育の計画書を前年度3月までに町長に報告するとあるが、年度は4月1日から始まるので、2月末までとし、議会にも提出できないか。

答

計画書は、事前に事業者と十分に協議をし、その内容を決定する。その内容が整った段階で、議会にどのようなかたちで提出できるのか検討させていただきたい。



新年度より公私連携型認定こども園となるふとみ保育所



北欧の風道の駅とうべつに設置されたみかんツリー

総務
文教

道の駅に雪の滑り台

問

道の駅で12月以降のイベントは何をするのか。

答

道の駅室で知りうる範囲の回答となるが、現在クリスマスのイベントを行っており、今後、前年

同様にバレンタインなどのフェアを計画している。また、PR事業として、雪の滑り台を設置したり、確定ではないが、子ども向けのショートフィルムを上映する予定である。

農業被害への支援

産業
厚生

経営体育成支援事業の状況

問

9月の台風や地震の被害を支援する本事業は、急遽決まり募集期限が短かったと聞いている。申請して該当になった方はどれくらいか。

答

相談件数は58件で、非常に厳しいハードルでもあったので要件を満たされなかった方もいたが、要件を満たされた方は、今回46件であった。



台風21号により倒壊したビニールハウス

介護保険事業・障害福祉サービス増額

産業
厚生

介護保険事業計画の見込みは

当別町では、住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりを目指していますが、12月議会では、主に居宅系サービスを減額し、施設系サービスを大きく増額する2,852万円の補正予算案が提案されました。

問

第7期介護保険事業計画では、施設から在宅への移行を目指しているが、見込みが大きく外れることはないか。

答

介護予防事業や生活支援事業を今後も積極的に推進することにより、計画どおり進むよう努力していきたいと考えている。

産業
厚生

心身障害者対策費の傾向は

問

障害福祉サービス給付費は、補正額としては相当大きく約4,300万円。増えているのは、当別町だけの傾向か。どこの地域にも見られる傾向か。

答

当別町のみならず、障害者給付費については、毎年、増加している状況である。



当別町障がい者総合相談支援センター ナナカマド
(弥生)

当別駅南北連絡線のエレベーター更新

産業
厚生

当別駅のエレベーター更新工事



更新される当別駅のエレベーター

平成6年設置の町道当別駅南北連絡線エレベーターは、老朽化や部品の製造停止などにより、更新が必要であるため1,627万円の補正予算を提案する旨の説明がありました。

問

平成30年6月にエレベーターが停止したとのことだが、原因や経緯は。

答

毎月1回保守管理・点検をしており、なるべく早く更新すべきとの管理

会社からの進言もあった中、6月に動かなくなったと通報があった。保守管理業者に点検していたが、部品の一部が劣化して故障しているとのこと、部品交換して運転を再開した。

【その他の主な質問項目】

一体型義務教育学校基本設計プロポーザル決定後のスケジュール（公共）、一体型義務教育学校建設に係る教育委員会と財政部局との協議（総務）、道の駅直売所の冬季営業（総務）、福祉灯油助成事業（産業）、企業誘致推進協議会への負担金内訳（産業）など

委員会の動画を配信しています！

平成30年9月議会より、議場で開催される常任委員会のライブ配信及び録画配信をしています。町部局からの議案の提案説明やそれに対する質疑を見ることができます。ぜひご覧ください。議会ホームページ



一般質問

山崎 公司 議員



「ここからは

一般質問 7人の議員が登壇し、21項目の質問をしました。

質問の
ねらい

新年度予算編成の重点項目は

地方創生総合戦略の最終年度になり、人口減少対策・移住者を呼び込む課題解決のための予算規模と基本方針を質問した。

防災対策として庁舎被災及び機能の継続、避難所の対応、子ども達の

防災意識向上をどう指導しているか。さらに高齢者の自動車免許返納者への対応、道医療大・日体大・当別町・道銀の4者協定締結の今後の対応を質問した。

ここを
聞きたい

他町村との差別化が必要

問

人口減少対策として、他町村との差別化が必要で、出生の2子・3子の手当・通院医療費、親子2世代の住宅建設の補助、移住者の住宅費補助が必要ではないか。

答

居住環境の整備、分譲マンション建設や宅地開発、町営住宅建設と住宅施策や住環境整備の施策と併せてタイミングを見計らって実施すべきもの考える。

ここを
聞きたい

教育予算の増額を

問

移住者や企業を呼び込む課題は、雇用、子育てであるため徹底した子育て、教育の支援を行う必要がある。現状の教育予算を増額して、課題を解決する姿勢が重要ではないか。

答

教育の充実が極めて必要であるが、歳出の構成比率は大規模改修や学校の統廃合、新設等で大幅に変わるので、比率にとられず、教育の向上の取り組みを進める。

ここを
聞きたい

防災対策と対応

問

避難所の対応として、高齢者や障がい者の支援は十分にできるのか。停電時でも暖房は大丈夫か。ペットは、自己責任で避難させることになっているが、どのような対応をとるのか。

答

特に支援が必要な方は、福祉避難所のゆとろで対応。停電時の暖房等は、発電機、暖房、毛布等の確保に努めている。ペットについては環境省策定のペット救護対策ガイドラインを参考に進める。



避難所で使用されるダンボールベッド

ここを
聞きたい

高齢者の自動車免許返納

問

自動車免許証の返納者に対する交通弱者への対応は、どのように検討されているのか。

答

免許返納者だけでなく、高齢者や身体障がい者等の交通弱者の活動範囲を広げる支援のあり方の検討を行い、コミュニティバスや町内でのタクシー乗車料金の割引等の協議を進めている。

ここを
聞きたい

4者スポーツ振興連携協定

問

道医療大・日体大・当別町・道銀の4者が連携協定を結んだが、町内での合宿などの具体的な検討はされているのか。

答

メダリストの講演会や実演、部活動の生徒への指導をしてもらうべく日体大の各スポーツ部の合宿誘致などを考えている。

【その他の主な質問項目】

台風・地震による町税への影響、総合戦略最終年度の予算規模・予算編成方針 など



一般質問

古谷 陽一 議員

質問の
ねらい

札沼線 廃線区間のバス転換

JR 札沼線の北海道医療大学以北が平成 30 年 10 月 12 日に廃線を受け入れ、バス転換へと大きな変革となった。廃止地域の方々との十分な協議が大切である。町道の草刈り等について、地域住民の高齢化と農家

戸数の減少の中、機械化すべきではないか。当別町の素晴らしい観光地の PR と整備を強化し、町に人を呼び込み、賑わいを創出し、移住、定住につなげる方法についてどのように考えているのか質問した。

ここを聞きたい 札沼線代替バスのルート

問 JR の代替バスは、運行ルートやダイヤ等についてさまざまな課題が出てくると考えられる。廃止地域の方々に十分な説明会や、意見や要望を取り入れていく必要があると考えるがどうか。

答 運行ルートは道路管理者や警察との調整が不可欠で要望どおりにならないケースもある。今後も沿線町内会に担当職員が通い、皆様の利便性が向上する路線の構築に向けて鋭意努力する。



JR 札沼線を走るディーゼルカー

ここを聞きたい 利用しやすいバス運賃を

問 この代替交通は公共交通として、高齢者をはじめ、地域の足として非常に重要な役割となる。今後利用しやすい料金体系が必要であると思うが、運賃についてはどのように考えているのか。

答 運賃は、できるだけ JR の料金に沿う設定にしていきたいと考えているが、運輸局や関係自治体、運行業者と協議をしなければいけない。町単独で決められない点がある。

ここを聞きたい 町道草刈りの機械化を

問 地域住民により年 2 回実施しているが、高齢者や女性のみ家庭もあり、非常に辛い作業となっている。除雪機械を夏場に有効利用するなど、建設機械の導入が必要ではないか。

答 農村地域では（国の）多面的機能支払交付金を活用して草刈りを実施していただいていた。負担が非常に重くなってきたことは理解する。同交付金で機械の導入を検討いただけるのではないかと。

ここを聞きたい 町道中小屋線の舗装を

問 当別ダム周辺は観光のスポットである。しかし、当別ダム周辺においても一部砂利道のままの町道中小屋線など道路整備が必要な場所がある。整備するつもりはあるか。

答 この道路は、山間部の砂利道であり大雨や融雪期に農地へ砂利が流出する被害がある。当別ダム周辺の観光ルートの魅力を高めるために重要な道路である。できるだけ早く整備する必要がある。

ここを聞きたい 観光地としての町の PR を

問 本町に多くの人々が訪れることで、交流人口を増やし、移住・定住にもつながる。観光地としての PR についてどのように考えているか。

答 これまで以上に当別町の魅力を道内外に PR し、観光地としての知名度を高めることが重要。観光事業者の誘致に向けて取り組んでいる。

【その他の主な質問項目】
バス転換の今後のスケジュール

一般質問

澁谷 俊和 議員



質問の
ねらい

繰り返さない競争入札妨害事件

町内外に激震が走った 22 年前の『競争入札妨害事件』。役場にも家宅捜索が入り、町長、幹部は大わらわ。多くの町民も驚きを隠しきれなかった。あれから 22 年同種の事件は起きていない。また起こさせないため

にも、昨今の落札率その多くが予定価格の 95% 以上。一般競争入札に付す金額を 3,000 万円に切り下げたがその評価は。町の受注業者に発注部局から転職しているケースはあるか。などを質した。

ここを
聞きたい

予定価格 94 ~ 95% 以上で落札

問

22 年前に入札妨害事件があったが、その後、役場や議会の努力もあり事件は起きていない。この 3 ~ 4 年、入札の 8 ~ 9 割が予定価格の 94 ~ 95% 以上で落札されているが、どう考えるか。

答

入札の 8 ~ 9 割が予定価格の 94 ~ 95% に入っていることは、金額の算定、積算、あるいは、予定価格の設定が適正と言えるのではないかと考えている。

ここを
聞きたい

条件付一般競争入札の試行期間

問

条件付一般競争入札の試行要綱が作られており、まだ試行となっている。試行というのは、何年間かそれでやってみてというのが普通の考えで、今でも試行となっているのはなぜか。

答

条件付一般競争入札は平成 27 年に見直し、以来 11 件実施してきた。試行期間を終えるにはさらに一定の実績を積み重ねる必要があると考えるので、もうしばらく試行期間を続けたい。



入札会場のイメージ写真

ここを
聞きたい

最低制限価格の設定

問

条件付一般競争入札は、あらかじめ最低制限価格を設けなければならないとなっていると思うが、それを設けているのか。また、不都合な点はないのか。

答

条件付一般競争入札を実施した 11 件全てに最低制限価格を設定しており、不都合は全くなかった。

ここを
聞きたい

金額見直し後の評価は

問

一般競争入札に付す金額を 5 億円以上から 3,000 万円以上に変え、これについては大賛成であるが、3,000 万円以上に下げた取り組んできた町としての現在の評価は。

答

11 件の一般競争入札を実施してきたのは、5 億円以上から 3,000 万円以上に見直した結果であり、見直しを行った成果はあったと考えている。

ここを
聞きたい

受注業者への町幹部の再就職

問

この 4、5 年の間に、町から工事を受注している業者に発注部局幹部が退職後就職したケースはあるか。

答

該当者はいない。

【その他の主な質問項目】
道路拡幅工事 など



一般質問

秋場 信一 議員

質問の
ねらい

自転車でまちづくり地域おこし

止まらない人口減少に即効性高い
交流人口の獲得で地域おこしを考
えてみた。

道の駅を拠点に自然豊かな優位性
を生かす周遊の誘導など、電動自転
車の取り組みを含めた今後の施策を

伺う。

また、新設予定の義務教育学校周
辺の通学路を含む交通路や旧公民
館、末広地区周辺の環境整備の必要
性についてコンパクトな町を考える
重要な地区として尋ねた。

ここを聞きたい 自転車ツーリズムの推進は

問 自転車ツーリズムの推進は、交流人口を伸ばせる大きな潜在性がある。新たなツーリスト獲得のため、道の駅を拠点に周遊を促すような仕掛けが必要と考える。今後の施策を持っているか。

答 石狩北部・増毛サイクルツーリズム推進協議会の枠組みを活用し、近隣の道の駅への周遊ルートを構築したり、イベントを実施し、広域での情報発信、駐輪場の整備等を行い満足度を高めていく。

ここを聞きたい 無償貸与で移住促進に

問 医療大生に町ぐるみで自転車を無償貸与し、大学生への利用普及を図り、利便性の良さを提供することで移住促進につながると考えるが、町として近い将来そういう考えがあるか。

答 自転車の利用より、カーシェアリングができる環境を求めている。公共交通の充実、コミュニティバスの運行やJRの増便などにより自転車で通学する学生は少なくなっているのではないかと

ここを聞きたい 旧公民館の解体を急ぐべき

問 地震などで半壊などが予想され、解体作業はコスト高で町の不利益になる。高さの高い物件こそ優先度を上げ解体などを急ぐべきではないか。

答 解体条件付きで民間に払い下げる方法、あるいは解体後の土地利用のあり方も含めた仕組みづくりに今取り組んでいる。

ここを聞きたい 末広団地の整備を急ぐべき

問 一貫校新設周辺の環境整備について、通学路の設計変更も当然必然的に発生するものと考えられる。景観、防災、防犯の観点などの諸影響を考えると末広団地の整備を急ぐべきではないか。

答 末広団地を含め、新設校周辺地区については、定住、移住促進、子育て世帯の呼び込みなどにつなげることが極めて重要であり、周辺地区の環境も併せて整理していく必要がある。

ここを聞きたい マスタープラン上の活用は

問 旧公民館は立地適正化計画にとって、とても大事な。駅を中心に考えると非常に活用の見込みのある場所だ。コンパクトシティに関することと併せてあの地域の位置づけをどう考えているか。

答 旧公民館の場所は、今回一貫校を建てることもあり、居住地域としては大変重要な地域だと捉えている。立地適正化計画の中にも駅前開発と同様にしっかり位置づけされている。

【その他の主な質問項目】

放置自転車の管理、中学生への自転車教育 など



立地適正化計画にとって重要な場所にある旧公民館

一般質問

鈴木 岩夫 議員



質問の
ねらい

人口減少対策は全町民参加で

総合戦略策定から4年。人口減少対策は、なかなか成果を上げていない。いよいよ人口減少に歯止めをかけるために全町民参加の本格的な議論を行う時期が来ていると思う。

とりわけて産業別就業者数で8%

弱の農家戸数が10年で約4割減少するという試算は注視すべきで、それを防ぐ対策が求められる。この問題は、全町民の課題で、全町民の団結で乗り越えなくてはならないという思いで質問した。

ここを
聞きたい

人口減少対策の効果は

問

当別町の人口減少のスピードは、社人研※1の予想をはるかに超えている。この3年間総合戦略に基づきさまざまな施策を進めてきたが、人口減少対策が効果をあげていないのではないのか。

答

社会減は少しずつ歯止めがかかってきているが、自然減が加えてあるためトータルでの人口減に歯止めがかかっていない。子育て・教育・住環境整備のスピードを高めていく必要がある。

ここを
聞きたい

ピンチはチャンス

問

住民が主人公を合言葉に当別町を住んでもらえる町、住みたい町にするため住民みずからが必要。町民の意見に耳を傾けながら議論する審議会を設けるべきでは。

答

審議会というのは疑義を感じるが、住民が主人公というのは全くそのとおりであるので、町民の英知を集めピンチをチャンスに変えていくことができるように努める。

ここを
聞きたい

農家戸数減を食い止めよ

問

農業10年ビジョンの経営目標及び戦略では2024年の農業算出額100億円を掲げているが、農家戸数は2013年からの11年間で40.7%に減少となる。希望を持って営農できる対策が必要では。

答

過去20年間で農家戸数は約半数まで減少しており、今、関係機関が一体となり新規就農者を受け入れやすい体制につくりあげたところ。工夫をし、新規就農者を引っ張っていく必要がある。



青年農業者で組織する当別町4Hクラブのポスター

ここを
聞きたい

当別の米をブランドに

問

ブランド化、6次化、販路拡大には、ビジネスマンとして活躍した実績を生かし、当別の米を町長の力で売ってブランド化してはどうか。

答

米の輸出はビジネスチャンス。加工度を高めることがブランド化につながるため、農商工連携した取り組みを進めることが米の輸出につながると思う。

ここを
聞きたい

消費税増税経済への影響は

問

2019年10月の消費税10%増税が表明され、さまざまな経済対策が打ち出されたが、どれも大企業と富裕層向けで国民の懐は暖まらない。増税に伴う当別町の経済に及ぼす影響は。

答

増税前の駆け込み需要、増税後の買い控えなど、町にも少なからず影響が出ることは避けられないと考える。地方経済への影響が最小限に抑えられるよう国へ求めている。

【その他の主な質問項目】

農地売買価格と借地料の農業委員会斡旋不成立の有無

※ 1 社人研…国立社会保障・人口問題研究所の略。平成27年国勢調査の確定数値を基に将来人口の推計を行い、平成29年4月に公表した。



一般質問

五十嵐 信子 議員

質問のねらい

寄附者の真心には真心でお返しを

ふるさと納税は、町において貴重な財源となり今までできなかった事業を始めるにあたって使用し町の活性化に役立っている。これまで以上に多くの方々に当別町の魅力をPRし応援してもらえる工夫や、寄

附者と町のつながりを深めていき交流人口の増加にも結びつけていくことが大切と思い質問した。また介護体制を維持していくための後押しの提案と子ども達の健康と命を守るガン予防についても質問した。

ここを聞きたい ふるさと納税の魅力PRは

問 当別町出身や当別町を応援したいという方からの寄附をいただいている。これまで以上に当別町の魅力を知っていただき、応援したいと思ってもらえるようなPRや工夫をされているのか。

答 魅力的で満足いただける返礼品のラインアップ充実に努めている。寄附金をどのように活用しているかふるさと納税サイトで紹介すると共に、返礼品に同封してリピートしていただくよう努めている。



ふるさと納税の活用事例を紹介するチラシ

ここを聞きたい 寄附者とのより深い交流を

問 ふるさと納税の額を伸ばしている自治体は、納税して下さる方と交流を深めている。例えば、イベントの案内や季節ごとの挨拶状など、交流にも力を入れてはどうか。

答 寄附者に、「今、私たちの町はこういったことに使っているのですよ。」というお知らせをして、次の納税をお願いしながら進めている。

ここを聞きたい 使途を選択できるように

問 アンケートによれば、共感できる寄附金の使途があれば、ふるさと納税をしたいという方は8割以上。当別町でもふるさと納税の使途を選択できるようにしてはどうか。

答 使途指定で新たな寄附者を獲得できるような案件があればぜひ考えたい。現時点ではそういった案件が見つかっていない。

ここを聞きたい 介護資格取得補助で人材確保

問 介護職員の確保と定着は行政と関係者が一丸となって取り組むべき重要な地域の課題。介護資格取得補助制度を創設して、介護体制の維持をしていくための資格取得の後押しをしてはどうか。

答 介護事業者の人手不足は、処遇、勤務環境の課題など要因は複合的。現段階において町が介護資格の取得補助を行っても、町内の事業所の人材確保に直接的につながるものとは考えにくい。

ここを聞きたい ピロリ菌検査で胃がん予防を

問 ピロリ菌は5歳以下の乳幼児期に家族などから経口感染し胃炎や胃がんを引き起こす。子どもたちの健康と命を守るため、各学校で実施される尿検査を用いて任意で感染を調べてはどうか。

答 医療大病院と検討し、31年度から中学2年に検査と除菌を行う予定だったが、無症状の15歳以下の子どもの検査等は推奨しないという学会の指針が出た。医療大と相談し実施を判断する。

一般質問

佐藤 立 議員



質問の
ねらい

歴史に刻まれる学校づくりを

一体型義務教育学校の基本設計が来年5月まで行われる。町民に支えられ、社会で幸せに生きていける力を身につける最高の学びの場をつくるには基本設計が重要である。設計者の提案を基礎として専門家の最新

の知見も得ながら、町民の合意形成に努める基本設計を行うよう求めた。また、当別町の豊かな自然を活かして五感を働かせて感じることや主体的に学ぶ姿勢を養う野外教育の推進についても質問した。



次のページは

議案審議の結果

定例会では討論と採決が行われました。



ここを
聞きたい

一体型校舎の基本設計

問 学校施設の計画は、学校、家庭、地域の参画が重要であり基本設計は具体化するまたとない機会である。専門家の知見も得ながら、社会に開かれた基本設計を行うためどう取り組むか。

答 基本構想の策定段階でパブリックコメントを実施し、基本設計にも生かす。また、児童生徒・教職員のアンケートや地域住民・保護者等のコミュニティ・スクールの意見を生かしていく。



ここを
聞きたい

開かれた基本設計の取り組み

問 保育園、こども園の保護者の方が基本設計の合意形成にどう参画しているのか。パブリックコメントとか紙のやりとりだけでなく、直接町民の方が発言をするような機会を設けられないか。

答 意見をいただく窓口というのは常に開いているものではない。意見を寄せてくれた人とお話をすることもあるが、今のところは考えていない。



ここを
聞きたい

教育の差別化の支援体制

問 本に親しみやすい読書環境は、圧倒的な差別化が体感できる基盤となり、読書環境には司書の役割が大きい。高品質な図書サービスのため、正職員として司書を雇用してはどうか。

答 4名の図書館司書の有資格者を各学校へ派遣し、司書教諭と連携して環境の改善に取り組んでいる。雇用形態について、子育てや扶養家族のまま働ける点から幅広い人材を雇用できる。



木の枝を使って比率を学ぶ「野外で算数」の1コマ



ここを
聞きたい

司書の待遇や研修は

問 現在、司書4名が多様な働き方で生活に合った形で仕事をしていただいている。司書の待遇と勤続年数と日本図書館協会等の研修の受講状況は。

答 勤務は週22時間45分、勤務年数は4年目2名、3年目1名、2年目1名である。北海道図書館協議会研修は全員受講し、中堅者研修等の研修は有効に活用している。



ここを
聞きたい

野外教育は重要な施策

問 野外教育は近隣自治体に比べ圧倒的な差別化ができる。どのように考えているか。指導員を正職員として雇用しては。

答 学校では教育課程に位置づけて取り組みを進めている。指導員の雇用には社会教育主事を配置し野外教育も担当している。

【その他の主な質問項目】
社会に開かれた基本設計の重要性・必要性、低学年向けの校庭のさらなる検討の必要性 など

平成 30 年第 4 回定例会		結果	掲載ページ
日程：12月4日～12月11日			
◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数			
傍聴人数 31人 議会中継視聴回数 261回 (1/22 現在)			
【人事案件】			
固定資産評価審査委員会委員（橋本俊一氏）の選任 五賀利雄氏が任期満了となるため橋本俊一氏を選任するもの	◎		
固定資産評価審査委員会委員（高田修二氏）の選任 同氏が任期満了となるため再任するもの	◎		
【条例】			
当別町職員の給与に関する条例の一部改正 職員給与の改定を行うための条例の一部改正	◎		
当別町保育所設置条例を廃止する条例制定 当別町立保育所を廃止するための条例制定	◎	p.3	
【補正予算】			
平成 30 年度一般会計補正予算（第 5 号） 2億1,668万円を増額し、総額を97億1,240万円とするもの	◎	p.3・4	
平成 30 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号） 1,603万円を増額し、総額を20億8,902万円とするもの	◎		
平成 30 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号） 50万円を増額し、総額を2億3,872万円とするもの	◎		
平成 30 年度介護保険特別会計補正予算（第 2 号） 2,852万円を増額し、総額を15億7,011万円とするもの	◎	p.4	
平成 30 年度下水道事業特別会計補正予算（第 2 号） 1万円を減額し、総額を8億9,341万円とするもの	◎		
平成 30 年度水道事業会計補正予算（第 1 号） 収益的支出で給料を95万円減額等するもの	◎		
【行政報告】			
J R 札沼線 北海道医療大学以北区間の廃止容認について ※行政報告のため、質疑や採決は行われません。	—	—	
【請願・陳情】			
《平成 30 年第 3 回定例会（9 月）産業厚生常任委員会へ付託》 日 EU・EPA の慎重な審議を求める請願書 〔提出者〕当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他 4 団体 〔紹介議員〕当別町議会 議員 鈴木 岩夫	不採択		
《平成 29 年第 5 回定例会（12 月）公共施設特別委員会へ付託》 地方創成 都市再開発事業による「コンパクトシティまちづくり」 〔提出者〕荒田 謙	継続		

トピックス

《本会議での質疑》

スウェーデン館パネル作成業務委託

道の駅との情報発信の役割分担

Q パネルは町とレクサンド市との交流の歴史を発信するとのことだが、道の駅の指定管理者である(株)tobeで整理されるであろう道の駅本体の情報発信との整理や役割分担の調整はしているのか。

A 情報発信することでお客様や交流人口が増え、(株)tobeの売り上げにも貢献するような情報発信のあり方について今後引き続き(株)tobeと協議させていただきたい。

トピックス

不採択の委員会報告に反対討論



請願者の意図を汲むべき

請願者の意図を汲み9月議会中に結論を出すことはできなかったのか。

鈴木議員

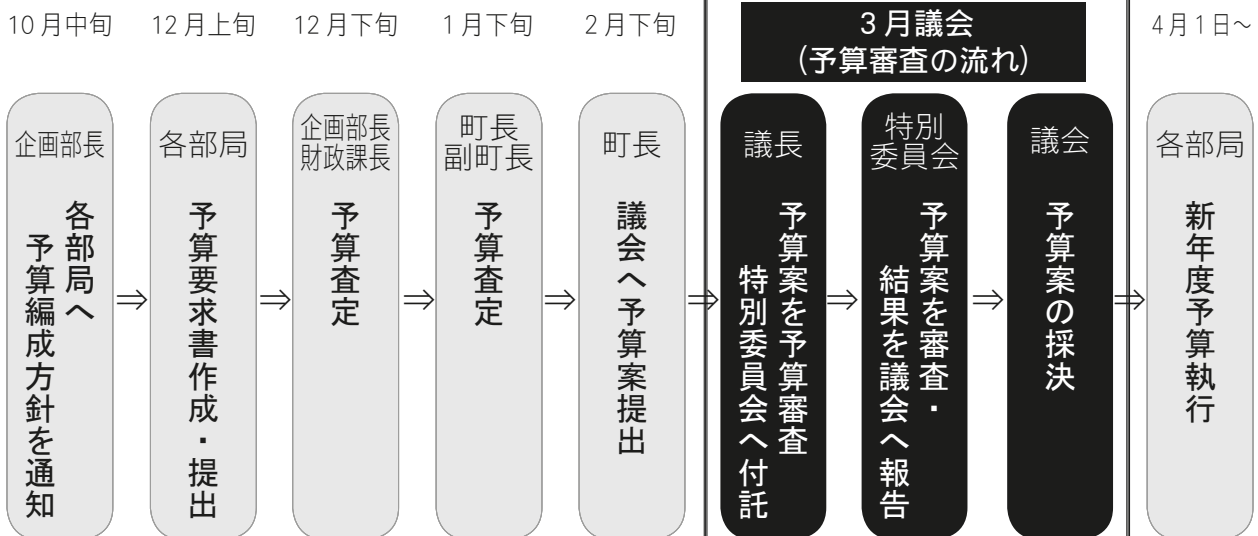
賛否が分かれた採決の公表

佐藤	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	石川	岡野	市川	高谷	島田
○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「—」は退席。

新年度予算は3月議会で決まります。

新年度予算執行までの基本的な流れ



より読みやすく、わかりやすく

とうべつ議会だよりモニターの取り組みをご報告します。

平成 29 年 12 月から平成 30 年 12 月までの 1 年間、議会だよりをより読みやすくするために 13 名の町民のみなさまにご協力いただき、モニター制度を実施しました。

モニターの皆様からいただいたご意見をもとに大小あわせて 79 項目の改善を行いました。ここでは、委員会ページを例に主な改善点をご報告いたします。

文字数を約半分にして写真も多く掲載。

一目見て掲載情報が分かるよう、大見出しや小見出しを掲載。

次のページは 議会報告会 たくさんのご意見をいただきました。

文字が小さい。見出しだけ先に見ることもある。

写真や図、イラストが少ない。

【議案】
 Q 議案の概要を簡単にまとめることについて、委員はどのような構成となるのか。
 A 構成については、男性が 3 名、女性が 1 名、佐々木氏は保健衛生委員の委員である。
 Q 他の委員は、どのような形で出ているのか。
 A 教育委員会の構成については、現職経験者である学童経験者が 1 名、保護者代表の方が 3 名で、そのうち 1 人は女性である。選定理由は、教育に対するこれまでの貢献、教育に対する熱意など広く実質があったことである。現在の教育委員は 4 名で、教育に対する熱意が高い人が揃っており、パランスもとれているとされている。

【議案】
 Q 議案の概要を簡単にまとめることについて、委員はどのような構成となるのか。
 A 構成については、男性が 3 名、女性が 1 名、佐々木氏は保健衛生委員の委員である。
 Q 他の委員は、どのような形で出ているのか。
 A 教育委員会の構成については、現職経験者である学童経験者が 1 名、保護者代表の方が 3 名で、そのうち 1 人は女性である。選定理由は、教育に対するこれまでの貢献、教育に対する熱意など広く実質があったことである。現在の教育委員は 4 名で、教育に対する熱意が高い人が揃っており、パランスもとれているとされている。

【議案】
 Q 議案の概要を簡単にまとめることについて、委員はどのような構成となるのか。
 A 構成については、男性が 3 名、女性が 1 名、佐々木氏は保健衛生委員の委員である。
 Q 他の委員は、どのような形で出ているのか。
 A 教育委員会の構成については、現職経験者である学童経験者が 1 名、保護者代表の方が 3 名で、そのうち 1 人は女性である。選定理由は、教育に対するこれまでの貢献、教育に対する熱意など広く実質があったことである。現在の教育委員は 4 名で、教育に対する熱意が高い人が揃っており、パランスもとれているとされている。

【議案】
 Q 議案の概要を簡単にまとめることについて、委員はどのような構成となるのか。
 A 構成については、男性が 3 名、女性が 1 名、佐々木氏は保健衛生委員の委員である。
 Q 他の委員は、どのような形で出ているのか。
 A 教育委員会の構成については、現職経験者である学童経験者が 1 名、保護者代表の方が 3 名で、そのうち 1 人は女性である。選定理由は、教育に対するこれまでの貢献、教育に対する熱意など広く実質があったことである。現在の教育委員は 4 名で、教育に対する熱意が高い人が揃っており、パランスもとれているとされている。

網掛けの色が濃く文字が読みづらいことがある。

これから開催される議会の案内も載せてほしい。

左ページに 3 月議会の予算審査の流れを紹介しました。

79 項目を改善!



- 【その他の主なりニュース項目】
- ・一般質問ページには「質問のねらい」を掲載。
 - ・「QR コード」を掲載しホームページへ誘導。
 - ・質疑内容のポイントを太字にして明確化。
 - ・分かりづらい言葉には注釈を掲載。 など



第 3 回とうべつ議会だよりモニター会議の様子
モニターの皆様、1 年間ありがとうございました。

第12回議会報告会でのご意見

「農商工連携・農業の担い手」

農産物の加工所、販売について商工会との連携を含めて検討してほしい。



道の駅、ふれあい倉庫の農産物直売部門等の連携強化取り組みを要望する。



新規就農者受け入れ体制の充実、研修所、研修農地等の設置、また、新規就農、担い手農業者相談等のワンストップ窓口の検討を要望する。



農家戸数の減少対策としての、大区画等の基盤整備、用排水、泥炭地等の土地改良事業の推進の取り組みを要望する。地域コミュニティへの配慮を要望する。



農業経営拡大に伴う人材確保対策を要望する。人材コントラ事業、外国人労働者受け入れ対策等を要望する。



農業経営者の家族経営協定の普及推進の取り組みを要望する。



「道の駅・観光」

観光の推進体制が整っていない。今後道の駅を中心に当別町の観光資源を活用し、どのようにPRしていくかが課題である。議会の皆様にも検討の上、提言願いたい。



青年部で食育事業、グリーンツーリズム、体験観光等に取り組んでいる。行政、議会とより連携強化し進めていきたい。連携強化、支援を要望する。



スウェーデン館の利用目的をはっきり伝えて欲しい。冬場の集客方法をしっかり考えてほしい。



道の駅は情報発信の基地と観光拠点として、町を周遊してもらう本来の目的にしてほしい。



道の駅の(株)to beは自立していない。町が主導権を握りすぎているように感じる。



グリーンツーリズムの部分で町の予算が打ち切りになったので課題を含めて検討を要望する。



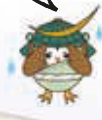
ゆとろ(11/12)と西当別コミュニティーセンター(11/13)で第12回議会報告会を開催しました。商工業・農業団体を対象に、「当別町の農業・商工業に関するフリートーク」と題し懇談を行いました。

「まちづくり」

小中一貫校で当別小学校の跡地利用はどうするのか。企業誘致や医療大学のサテライトキャンパスにしてはどうか。



小規模事業の振興に関する施策を策定し実施する責務がある。当別町も早く制定されるようお願いします。



阿蘇公園の滑り台の下がザラザラして子供が遊ぶには不安定の地面でただ遊具を置いただけという感じであった。



都市計画道路を凍結している。将来を見込んで効果ある道路であれば実施してほしい。



企業誘致にイケアを入れたらどうか、若い人が利用している。



小中一貫についてスピード感がない。何の為に小中一貫をやろうとしたのか。議員も行政に対してスピード感をもって対応してほしい。



定住してもらう事が人口増の一番の基本と思う。もう少し定住する為住みやすい町にしてほしい。



町内に空き地・空き店舗が増えており廃業もかなりある。議員さんからもアイデア・感想・助言を聞かせてほしい。



「防災・救命」

防災対策について、非常時の備蓄品に新生児用のオムツ、ミルク等十分な確保について要望する。



A E Dの十分な設置数の体制確保を要望する。



道の駅の防災拠点の役割と思うが、今後自家発電設備は設置されるのか。



たくさんのご意見ありがとうございました。
今後の議会活動に生かしていきます。

北海道社会貢献賞（市町村自治功労）表彰

後藤議長が、長年にわたる議員活動が認められ平成30年度北海道社会貢献賞（市町村自治功労）を受賞されました。12月5日に開催された表彰式では、高橋はるみ知事より後藤議長へ表彰状が贈呈されました。

※北海道社会貢献賞（市町村自治功労）：多年地方自治の進展、社会福祉の増進等に貢献し、その功績が顕著なもの



議会のうごき（平成30年12月～平成31年1月）

12月4日 議会運営委員会 議員協議会 第3回定例会	12月11日 議会運営委員会 議員協議会 第3回定例会 議会広報特別委員会
12月5日 総務文教常任委員会	12月19日 総務文教常任委員会
12月6日 産業厚生常任委員会 議会広報特別委員会	12月21日 議会運営委員会
12月7日 第3回定例会 議会運営委員会 議員協議会	12月26日 議会広報特別委員会
12月10日 第3回定例会 産業厚生常任委員会 第3回とうべつ議会だよりモニター会議	1月10日 議会広報特別委員会
	1月18日 議会広報特別委員会
	1月22日 議会広報特別委員会

議会を傍聴してみませんか

平成31年3月定例会のご案内

予定 3月5日(火)～3月20日(水)
内容 平成31年度当初予算審議、
一般質問など
傍聴 本会議や委員会も傍聴できます。
※日程が決まり次第ホームページへ掲載します。

どこからでも議会が見られる

議会インターネット中継

本会議と常任委員会の
ライブ中継や録画配信を
インターネットにより配
信しています。詳しくは、ホーム
ページをご覧ください。



ご意見ご感想をお寄せください

議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9
TEL：0133-23-3247 FAX：0133-23-4474
E-mail:gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

議会広報特別委員会

委員長	古谷陽一
副委員長	佐藤立
委員	秋場信一
委員	鈴木岩夫
委員	五十嵐信子

編集後記

議会だよりが町民の皆様に親しみやすいものとなるよう、議会だよりモニターの皆様には大変なご協力をいただき、大きくリニューアルすることができました。ありがとうございます。

さらに議会の動きが分かりやすく、活動がよく見えるように励み、議会だよりが町民の皆様と共に当別町の発展に大きく寄与できるものとなるよう努めていきたいと思っております。

議会広報特別委員会 委員長 古谷陽一

※次回の「とうべつ議会だより第197号」は本年6月に発行します。